



2005
夏季号

ほっと石川



特集1

いしかわ
エンゼルプラン2005
次代を担う子どもたちのために

特集2

北陸の未来を開く
北陸新幹線富山・金沢間の
フル規格整備がスタート!!

県民一丸となって、 未来の“いしかわっ子”を育てよう

これまで石川県では「石川エンゼルプラン2001」に基づき、先駆的な延長・休日保育の実施や地域子育て支援センターの設置など、計画的に子育て環境の整備を進めてきました。「いしかわエンゼルプラン2005」は、これを根本的に見直し、子育て環境先進県として、さらに今回の新エンゼルプランで、大きな柱としているのが、「子育て」を社会全体の問題としてとらえている点です。この

ため、行政だけでなく、社会福祉法人やNPO団体、地元企業などとともに、未だの石川を背負う子どもたちを生み、育てていくために、総合的な幅広い施策に力を注いでいます。

計画期間は平成十七年度から二十二年度までの五カ年。延長・休日保育を実施する保育所数や企業での育児休業取得率など四十項目の目標値を定め、毎年度、その達成状況を調査・公表し、社会的な理解と浸透を図っていくこととしています。

特集1 いしかわ エンゼルプラン2005 次代を担う 子どもたちのために

石川県では、子どもを安心して生み、育てることができる環境づくりを目指して、今年3月、「いしかわエンゼルプラン2005」を策定しました。新エンゼルプランでは、「マイ保育園登録制度」や「プレミアム・パスポートの発行」など、全国に先がけた特色あるさまざまな子育て支援策を盛り込んでいます。

社会全体で 少子化に歯止めを



県では、昨年度末に策定した「いしかわエンゼルプラン2005」の中で、子どもを産み育てるということを若い夫婦だけの問題とせず、社会全体の問題として捉え直し、企業等を含めた地域社会全体で支援することを基本に、実効性ある施策を盛り込みました。

その一つに全国初の「プレミアム・パスポート事業」があります。この事業は、民間企業の協力を得まして、多子世帯の経済的負担を軽減するとともに、子育てを地域社会全体で支援しようという気運を高めることを目的としています。

今後は、企業も仕事と子育てが両立できる環境づくりに取り組むことが大切です。県では、子育てに積極的に取り組む企業の社会的評価が高まるような環境整備への取り組みも進めさせていきたいと思っています。

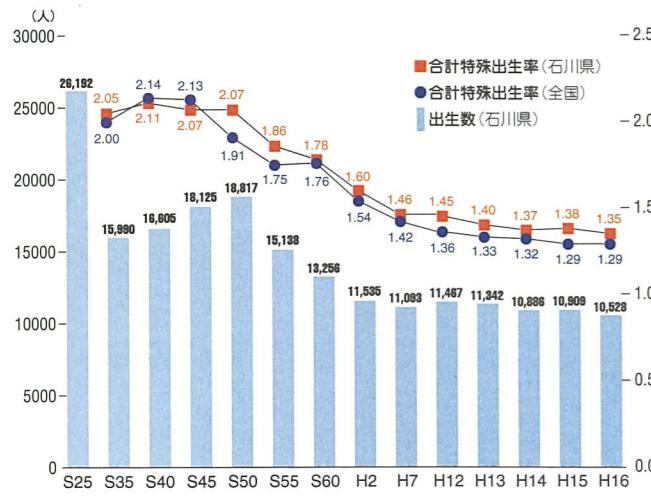
プレミアム・パスポート事業は、企業の皆さまのご理解、ご支援があって成り立つ事業であります。どうか事業の主旨にご賛同いただき、子育てにやさしい企業として積極的な参考をいただきますようお願い申し上げます。

石川県知事 谷本 正憲

石川県内の少子化の現状

石川県の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの平均）は、平成16年で1.35。過去最低を更新した全国の1.29よりはやや高くなっているものの、低下傾向で推移しており、今後、少子化が一層加速する可能性があります。

出生数と合計特殊出生率の推移



「人口動態統計」(厚生労働省)、「人口統計資料集」(国立社会保障・人口問題研究所)



表紙について

■シリーズ 石川の風物詩

石崎奉燈祭 (七尾市)

豊漁を祈願する八幡神社の夏祭りで、毎年8月第1土曜に七尾市石崎町で繰り広げられています。「イヤサカサー」の勇ましいかけ声とともに、高さ12~15メートルの6基の奉燈が街中を乱舞する姿は迫力満点。祭りの国・能登を熱く、そして華やかに彩ります。ちなみに、七尾市石崎町は、今回、インタビュー(12ページ)にご登場いただいた元横綱の輪島大士さんのふるさとでもあります。輪島さんの石崎奉燈祭に関するエピソードも紹介していますので、ぜひご覧ください。

表紙イラスト制作／市村 淳一 (金沢市在住)

私たちが協賛しています。



温泉業界初の試みを 今年7月からスタート

和倉温泉旅館協同組合常務理事
大井 義嗣さん

和倉温泉旅館協同組合では、27の加盟店旅館でプレミアム・パスポート事業に先立ち、多子世帯への独自サービスを今年7月20日から始めています。18歳未満のお子さんを3人以上連れて宿泊される全国の家族を対象に、3人目以降で13歳未満のお子さんの宿泊料を無料にする内容で、わたしたちは「クローバーエンゼル割引」と呼んでいます。

温泉旅館の業界として、このような割引制度は初の試みで、まだまだ手探りの中での出発です。しかし、温泉地の旅館が一丸となって取り組むことで地域としてのパワーが生まれ、誘客に大きな効果を発揮する考えています。

子育て サポーター インタビュー

職場環境の整備に 取り組んでいます。



金沢信用金庫
人事教育部主任調査役
池端 進さん

子育てしやすい環境が会社の利益につながる

金沢信用金庫では、妊娠した女性社員のほぼ100%が育児休業を利用しています。今年6月には、当金庫で初めて男性社員も育児休業を取りました。

これだけ多くの社員が利用できるのは、それぞれの職場で「仲間の子育てを応援しよう」とする雰囲気があるからだと思います。しかし、決して利用者を優遇しているわけではありません。仕事をしていく上で必要な人材だからこそ、子育てに関する不安を少しでも取り除き、一生懸命に働く場を整えたいのです。そして、それが会社の利益にもつながっていくと考えています。

今年四月から全面施行された次世代育成支援対策推進法に基づき、常時働く人が三百一人以上の企業では、仕事と子育ての両立を図るために必要な職場環境の整備などを盛り込んだ「一般事業主行動計画」の策定が義務化されました（三百人以下の企業は努力義務化）。

県では、働く方々が子育てしやすい職場づくりを推進するため、一般事業主行

●問い合わせ
県労働企画課
TEL 076(2225)1531
※ワークライフバランス企業紹介等にかかる
県のホームページ（八月上旬開設予定）
<http://www.jisedai.roudoukikaku.jp>

動計画を策定した企業を「ワーケーティング企業」として登録し、当該企業の名称、業務概要、行動計画の内容とその他の企業情報を県のホームページなどで積極的にPRしていくとともに、特に優良な取り組みを行っている企業を顕彰する新たな表彰制度を設けました。

ワークライフ バランス企業

一般事業主行動計 策定が義務化

子育てを応援する 企業をPR



多くの地元企業の方から協賛いただいています。

・バスポート事業」は、して、十八歳未満の子持つ多子世帯を支援するレミアム・バスポート頭で提示すれば、各店引などの特典が受けら帶の経済的な負担の軽なく、社会全体で子育いう気運の醸成にも貢います。

サービスの開始は平成十八年一月からの予定です。現在、協賛企業を募集しており、六月末で金融機関や飲食店、ホテル・旅館、住宅メー カーなど百八十六店舗の申し込みがきて います。十八年度三百店舗、最終的には二千店舗に協賛企業数を拡大したいと考 えています。

また、県の関連施設であるいしかわ動物園やのとじま臨海公園水族館などの子ども向け施設でも、利用料金の割引サービスを実施していきます。

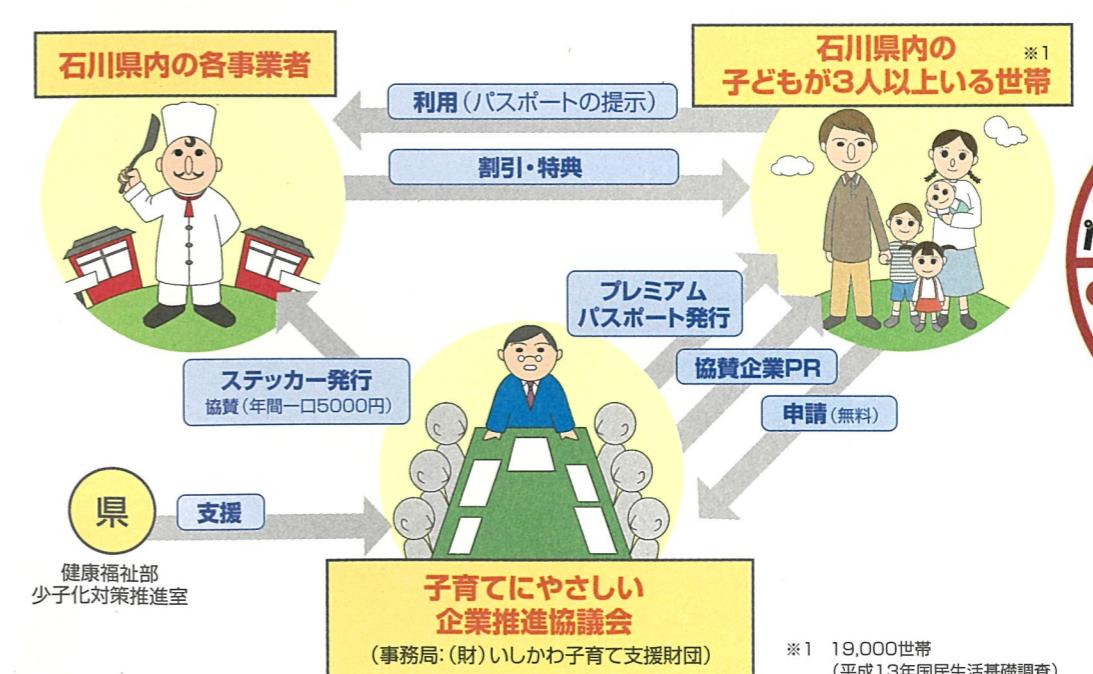
企業側にも大きなメリット

ところで、プレミアム・パスポート事業の運営母体となるのは、「子育てにやさしい企業推進協議会」です。同協議会は、県や経済団体などで構成しており、協賛企業にステッカーを交付したり、子育て支援に積極的な企業を紹介するなど、啓発を図っていきます。

さらに、プレミアム・パスポートを所有する家庭向けに発行する冊子や財団法人いしかわ子育て支援財団のホームページ内に、協賛企業の情報も盛り込むことにしており、企業側にとっても社会的な問題解決への参画と協力を通して、企業イメージの向上につながることが期待されます。

来年一月からサービスを開始

**多子世帯に特典！
地元企業が子育てをサポート**



子育てにやさしい企業推進
協議会が協賛企業に発行す
るステッカー

専門家が解消

育児体験のほか、
一時保育利用も可能

マイ保育園登録制度は、出産を控えた夫婦や三歳未満の乳幼児をもつ保護者を対象に、近くの保育所で育児体験や一時保育の利用などができる、全国初の試みとして今年秋ごろからスタートします。

この制度では、出産前の夫婦が自宅近くの保育所などを「マイ保育園」として登録し、母子健康手帳に添付される「育児体験カード」を使って、その施設で乳幼児の見学やおむつ交換、授乳などの育児体験ができます。さらに、出生届提出時に配付される「一時保育利用券(半日利用券三回分)」を使えば、育児に疲れた際などに、一時保育サービスが無料で受けられます。

マイ保育園登録制度を導入する狙いは、妊娠時から身近な保育所に相談相手がいる安心感を提供することです。核家族化、都市化が進む今、出産や育児に関する悩みなどを一人で抱え、ストレスを感じている人も少なくありません。この制度では、このような状況に陥ることを未然に防ぐ効果が期待できます。

マイ保育園登録制度は、今年度、七市町で導入する予定で、今秋ごろをめどに準備の整った市町から順次、サービスを実施していきます。県では、いしかわエンゼルプラン2005の最終年度となる平成二十一年度までに全市町での導入を目指しています。

子ども虐待防止対策の充実

県内の児童虐待相談件数は年々、増加し続けています。そこで、県では子ども虐待防止対策の一環として、県中央児童相談所で夜間や休日にも職員を配置し、虐待相談への二十四時間の連絡体制を整えました。

また、児童福祉司の地区担当制を導入し、市町が受け付ける虐待相談の後方支援を行っています。十六年度からは、休日夜間の子どもの急な病気やけがに、小児科医から直接アドバイスが受けられる「小児救急電話相談」も始めています。

子育てバリアフリーマップ

県では、いしかわ子育て支援財団のホームページ内に多目的トイレやプレイコーナーの設置など、小さな子どもと一緒に安心して利用できる施設情報を集めた「子育てバリアフリーマップ」を開設しました。また、県では、多くの人が使用する施設で段差の解消や授乳設備の確保などを推進し、子育て家庭が外出しやすい環境を整備しています。

財団法人いしかわ子育て支援財団
TEL 076(262)1530

不妊治療費を助成

不妊に悩む夫婦に対し、県不妊相談センターでは、不妊に関する検査・治療法や医療機関などの情報を提供したり、カウンセリングを実施しています。同時に、現在、保険適用外となっている体外授精や顕微授精にかかる不妊治療費の助成を昨年からスタート。夫婦の合計年間所得六百五十万円未満などの条件を満たす夫婦には、四年間にわたって年間十万円を上限にサポートしています。

不妊の相談※月～金曜の午前9時30分～午後5時30分
県不妊相談センター
TEL 076(237)1871
金沢市保健衛生課(金沢市にお住まいの方)
TEL 076(225)1437
(不妊治療費の助成)

子育て支援の拠点として活用



子育てサポーターインタビュー

よしたけ保育園(小松市)とちいしば保育園(津幡町)を運営する長戸英明さんにお話をうかがいました。



社会福祉法人 吉竹福祉会理事長
長戸 英明さん

わたしは、マイ保育園登録制度で、子育てのプロである保育士に相談できる環境が整うことで、自分一人で子育てを抱え込んでしまう「密室育児」が大幅に解消されるものと思います。

さらに、この新制度では、民生児童委員がマイ保育園と情報の共有や連携を図ったり、登録したことをきっかけに子育てに取り組む家庭を訪問する機会も増えます。この点でも密室育児の追放につながり、親も子もよりよい環境で生活を送ることができます。

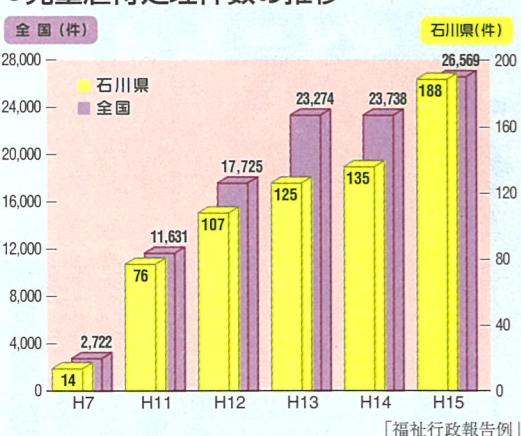


一方で、初年度にマイ保育園登録制度の導入を検討しているのは、7市町にとどまっています。今後、保育所側の受け入れ体制の整備が進み、マイ保育園登録制度が、県内全市町、そして全国へと拡大していくことを期待しています。



新館3階に整備する新生児集中治療管理室。(イメージ)

児童虐待処理件数の推移



●問い合わせ
財団法人いしかわ子育て支援財団
TEL 076(262)1530

●問い合わせ
県健康福祉部少子化対策推進室
TEL 076(225)1412

新館3階に整備する新生児集中治療管理室(イメージ)

機関の空床情報をインターネットで公開し、スピードで母子医療に取り組みます。

また、緊急の治療が必要な妊娠や新生児に適切な処置が行えるよう、受け入れ医療室(MFICU)を六床、未熟児などに高度な新生児医療を提供する新生児集中治療室(NICU)を九床確保。専任スタッフが、二十四時間体制で母子医療に取り組みます。

同センターには、重度の妊娠中毒症や切迫産などに対応する母体・胎児集中治療室(MFICU)を六床、未熟児などに高度な新生児医療を提供する新生児集中治療室(NICU)を九床確保。専任スタッフが、二

十四時間体制で母子医療に取り組みます。また、緊急の治療が必要な妊娠や新生児に適切な処置が行えるよう、受け入れ医療機関の空床情報をインターネットで公開し、スピードで母子医療に取り組みます。

新館3階に整備する新生児集中治療管理室(イメージ)

機関の空床情報をインターネットで公開し、スピードで母子医療に取り組みます。

また、緊急の治療が必要な妊娠や新生児に適切な処置が行えるよう、受け入れ医療

室(MFICU)を六床、未熟児などに高度な新生児医療を提供する新生児集中治療室(NICU)を九床確保。専任スタッフが、二

十四時間体制で母子医療に取り組みます。

新館3階に整備する新生児集中治療管理室(イメージ)

機関の空床情報をインターネットで公開し、スピードで母子医療に取り組みます。

また、緊急の治療が必要



サザエの刺身サラダ 洋わさびドレッシング

コリコリした歯ざわりが絶品のサザエ。刺し身やつぼ焼きが定番ですが、今回は、旬の野菜と合わせて洋わさびのドレッシングをかけ、サラダ仕立てにしました。肝までおいしく食べられますので、ぜひ試してください。

材料 (4人分)

- サザエ 中2個
- ズッキーニ 1本
- 中玉トマト 4個
- 赤タマネギ 1個
- チャイブまたは万能ねぎ 1束
- ドレッシング 洋わさび20g、マヨネーズ40g、牛乳40cc、生クリーム20cc、しょうゆ適量、バセリのみじん切り

ポイント

肝は、ソテーすると苦味がやわらぎコクがでます。さわやかな辛さの洋わさびは、たっぷり使っても大丈夫。すりおろしたものをスーパーなどで求められます。



作り方

- ① サザエは身を取り出し、よく洗って少し大きめの乱切りにする。肝はオリーブオイルまたはバターでソテーし、一口大に切る。
- ② ズッキーニは5~6mmにスライスし、オリーブオイルで軽くソテーして塩コショウをふる。
- ③ トマトはくし切り。赤タマネギはスライスして水にさらしておく。チャイブまたは万能ねぎは4~5cmに切る。
- ④ ドレッシングの材料をすべて合わせ、よく混ぜる。
- ⑤ ①②③を皿に盛り付け、食べる直前に④をかける。



第5回 サザエ

いまが旬! サザエには 海の栄養がたっぷり

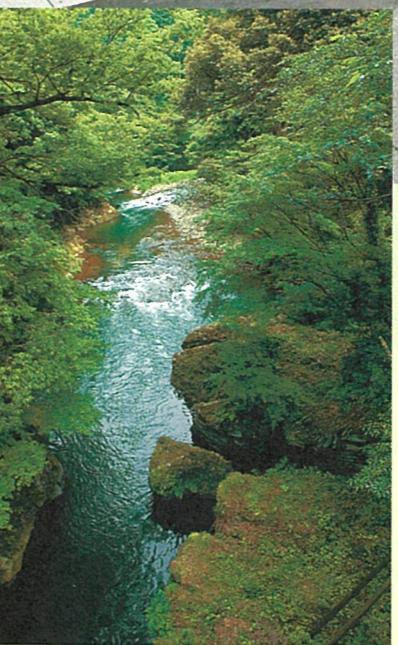
サザエが一番おいしいのは、六月から九月にかけて。浜辺でサザエを焼く香ばしいにおいては、夏の風物詩です。

サザエは網や素もぐりで捕るほかに、いそに小舟を浮かべて、ろを片手であやつり、箱めがねで海中をのぞきながら、ヤスで突く方法があります。サザエは身を取り出し、よく洗って少し大きめの乱切りにする。肝はオリーブオイルまたはバターでソテーし、一口大に切る。

れる漁法で、そんな熟練の腕をもつ漁師は、現在では二十名ほどです。

いその香りとコリコリ感が絶品のサザエには、視力回復や強心作用があるタウリンが豊富に含まれています。また、苦味のせいで敬遠されがちな肝には美肌効果もあるそうです。

刺身やつぼ焼きに、栄養満点のサザエで夏の疲れを吹き飛ばしましょう。



▲こおろぎ橋から始まる全長約1.3キロメートルの鶴仙渓。



所在地：山中町こおろぎ町144
電話：0761(78)5620
営業時間：午前9時～午後6時
定休日：火曜



山中温泉の中心街から約一キロ上流に「山中温泉ゆけむり健康村」があります。温泉やプール、テニスコートと充実した健康施設が整う敷地内に、今年三月、観光情報コーナーと売店を備えた駅舎が併設され、道の駅としてオープンしました。

売店は特産の山中漆器、コシヒカリ、な品ぞろえが自慢。また、道の駅の後ろ

を流れる大聖寺川の遊漁券も販売しております。多くの釣りファンが訪れております。

そして、周辺に、散策や観光スポットがめじろ押しのもこここの特徴です。山中のシンボルともいえる「こおろぎ橋」から始まる鶴仙渓遊歩道を歩けば、四季折々の景観が満喫できます。

格子の町屋が美しい「ゆげ街道」には、ギャラリーや地酒店、土産店が並びます。さらに、国の天然記念物に指定さ

れている樹齢約二千三百年の柏野大杉、三又大杉の力強さには、圧倒されるばかりです。

道の駅から奥には昨年四月、「丸岡・山中温泉トンネル」が開通し、福井県との往来がとても便利になりました。曹洞宗の名刹永平寺にも車で約三十分钟。広域の観光にも便利なゆけむり健康村にぜひお立ち寄りください。

中温泉の中心街から約一キロ上流に「山中温泉ゆけむり健康村」があります。温泉やプール、テニスコートと充実した健康施設が整う敷地内に、今年三月、観光情報コーナーと売店を備えた駅舎が併設され、道の駅としてオープンしました。

売店は特産の山中漆器、コシヒカリ、な品ぞろえが自慢。また、道の駅の後ろを流れる大聖寺川の遊漁券も販売しております。多くの釣りファンが訪れております。

そして、周辺に、散策や観光スポットがめじろ押しのもこここの特徴です。山中のシンボルともいえる「こおろぎ橋」から始まる鶴仙渓遊歩道を歩けば、四季折々の景観が満喫できます。

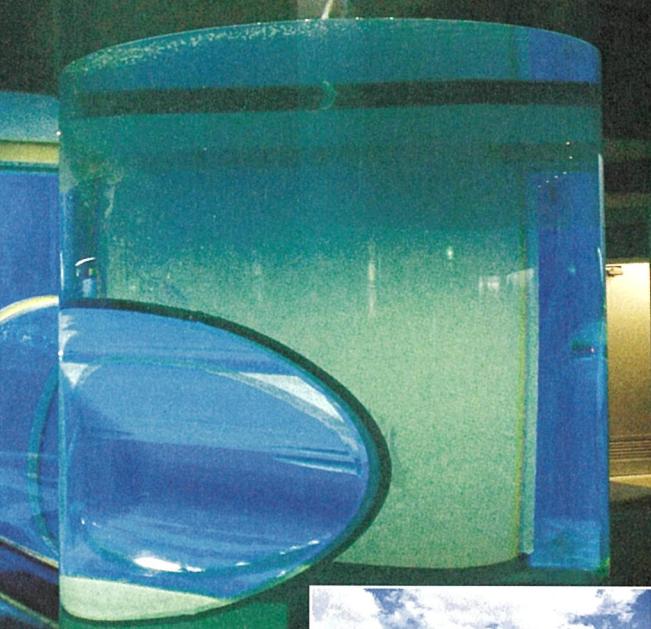
格子の町屋が美しい「ゆげ街道」には、

ギャラリーや地酒店、土産店が並びます。さらに、国の天然記念物に指定さ

れている樹齢約二千三百年の柏野大杉、三又大杉の力強さには、圧倒されるばかりです。

のとじま臨海公園水族館に新しい見どころ 「ドルフィン万華鏡」がお目見え!!

夏休みに、
ぼくたちを
見に来てね



今年7月、のとじま臨海公園水族館の「海の自然生態館」内に、高さ3.7m、直径2.3mの円柱水槽「ドルフィン万華鏡」が完成しました。ドルフィン万華鏡では、全国で初めて混泳展示しているスナメリ2頭とイロワケイルカ1頭を、より身近に感じができるように改築しています。青や緑、黄に変わるライトに照らされ、イルカたちが優雅に泳ぐ姿は幻想的。ぜひ一度、ご家族やお友達と一緒に、足を運んでみてください。



●問い合わせ
のとじま臨海公園水族館
七尾市能登島曲町15-40
TEL.0767(84)1271
ホームページhttp://www.notoaqua.jp/

住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはFAXでお送りください。
〒920-8580(住所の記入不要)
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて
FAX 076(225)1360

ホームページでもみなさんからの
ご意見をお待ちしています。

- 知事のホームページの提言コーナー
いしかわ夢づくりEメール
県のホームページからアクセスしてくださつ。
<http://www.pref.ishikawa.jp/>

編集後記

● いしかわエンゼルプラン2005の取材の中で民間企業の皆さんの少子化対策への前向きな取り組みをお聞きし、大変心強く感じました。皆さんさまざまな問題をクリアしながら取り組んでおられるんですね。こうした取り組みが社会全体に広がり、石川県、日本の子どもたちがどんどん増えていくことを期待したいと思います。

石川県の人口（推計）

117万4636人（平成17年6月1日現在）

男 56万7679人
女 60万6957人

世帯数
43万265世帯
(1世帯あたり2.73人)

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください



前略 石川県知事